

●主な活動の記録 (4月～6月)

4月9日(土) 定例活動 お花見 矢田山遊びの森

参加者 22 名。午後、お花見が予定されているため、活動は下記 3 手に分かれ午前中のみ。

①竹の除伐—榊野工務店隣接地

FV 連「緑の募金」公募事業として継続して実施しているもの。

一部切りばなっしで放置されているものの整理と新たな除伐の二ヶ所での作業。この間、雨後でもあり立派な筍が所々に頭を出しており、筍堀の名人により掘り出され、そこそこの収穫。一部昼食のおかずとして早速煮つけてもらい、残りを籤引きで分けて持ち帰る。

②高木の除伐—頂上展望台の眺望・景観を回復のため。今回は時間が限られていたため西側にあるヤマザクラの大きな古木近くのヒノキの処理。サクラのしっかりした枝に掛かり、途中ロープが切れたり苦戦、かなり時間がかかったが無事伐倒。サクラが良く見えるようになった。

③カレーづくり

女性を中心に、昼食時の花見用に準備。合わせ山の幸である朝堀りの筍とシイタケを副菜として調理。昼、桜広場でのお花見。ヤマザクラは盛りを過ぎていたが、八重桜は丁度満開。桜吹雪の下、カレーに副菜と香の物を盛って味わい、暖かい日差しを浴びながら歓談。

午後は、道具の手入れ、周辺整理と調理場の片付け。終了後の定例理事会で、

- ・緑の募金助成金申請(設立 20 年記念事業)
- ・FV 連緑と水の森林ファンド助成金申請(村おこし支援・リーダー研修)
- ・山の日川の日協賛イベント(7月 23 日/8月 13 日)
- ・今後の活動内容
- ・中間決算

それぞれ、担当者より説明・報告があった。



除伐作業風景



カレー順番待ち



満開の八重桜

4月16日(土) 緑の募金 街頭募金活動 近鉄奈良駅前

15日から始まった「緑の月間」に合わせ、県緑化推進協会による緑の羽根街頭募金活動が行われ、当クラブより 9 名、いこま里山クラブより 6 名が参加。加えて県・緑推関係者、ミス奈良、ガールスカウト、時折出現する”せんとくん”で道行く人々に花の種や風船を手渡しながらか募金への協力を呼びかけた。通りかかる半数以上が観光客、とりわけその大半が外国人ということもあり、今回初めて英語・中国語・韓国語のテープが流された。しかし立ち止まりはしてくれるものの募金への協力はいまひとつ。やはり小学生

のガールスカウト達が頑張って張り上げる声が最も威力を示したよう。そこそこの成果で昼過ぎに終了。



街頭募金風景

4月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

雨と雨の合間の晴天のせいか、参加者少なく10名。午前中はFV連「緑の募金」公募事業”R308 沿い竹林整備と環境整備作業の実施。伐った太めの竹を子ども交流館前の生垣の土止めに使うため20本ほどを持ち帰る。午後、前は回は間伐材を利用しての土止めをしていたが、これの腐蝕が甚だしいため、今回は上記の竹で作り変えることとした。スギの間伐材を杭とし使うため、一メートルほどに切りそろえ、皮を剥き、先を尖らせて防腐剤を塗った9本を等間隔に打ち込み、三メートル強の長さの竹を5段、3列並べて出来上り。以外と見栄えの良い仕上がりとなった。



竹の伐りだし



土止めづくり



仕上がりにご満悦

4月29日(金) 花の苗・種の配布 馬見丘陵公園

県緑化推進協会による緑化コンクール入賞者表彰式がみどりの日にちなんで、この日執り行われるに合せて、花の苗と種の配布があり、この手伝いに早くからクラブ員11名が参集。

まずポットにラベルを貼り、柄を取付け、最後に各種の花の苗千個近くを入れて準備を整えた。

11時から始まった表彰式、主催者挨拶の後、各入賞者へ表彰状が手交され、県関係者のお祝いの言葉があり、この後お祝いに駆け付けてくれた”せんとくん”を囲んで記念撮影で終了。

すでに列を作って待っていた人々へ花の苗・種や小さい子らには風船を配布。この間せんとくんもお手い。昼過ぎに人の列が絶えて終了。我々も花のおすそ分けを頂き持ち帰った。



入賞作品



記念撮影



花を待つ長い列



せんとくんもお手い

5月14日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

晴天のこの日、全員が頂上展望台付近での活動となるため、集まった者から、順次徒歩で約40分の同地に向けてハイキング。久しぶりにそこそこの距離の坂道を歩いた会員にとっては、十分過ぎる準備運

動となった。参加者 20 名が揃った 10 時半過ぎに朝礼。「緑の募金」公募事業としての展望台付近での整備活動として、①草刈り ②人工林内の竹の除伐 ③高木の除伐の三手に分かれての作業を、昼休みを挟んで一時半過ぎまで実施。

午後、県北部農林振興事務所白石氏の訪問あり。月間誌「林業新知識」に活動内容の紹介記事を書いて頂くとのことで、現地見学と最近の活動状況の説明を行った。

全員が子ども交流館へ帰り着いた 2 時半、集合写真をとってもらい解散。

解散後開催の定例理事会では、春日奥山古事の森総会、ボランティア保険、今後の活動内容、出前講座他各種イベントでのクラフト指導の内容等の検討を行った。



高木の除伐作業



草刈り



竹の除伐



木陰で昼食

5 月 28 日 (土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加 23 名。この内仕事や病気・手術等で暫く欠席が続いていた 3 名が久しぶりに元気な顔を見せ、それぞれ近況報告があった。

午前中、①野鳥の森植栽地下草刈り、②FV 連「緑の募金」公募事業・R308 沿線の竹林整備と環境保全の二手に分かれての作業。いずれの作業地でも、草・竹があつと言う間に大きく伸びており、暑い日の中奮闘。植栽地ではいつもより早めに大きな「夏グミ」が実っておりこれを収穫。一方竹林整備では、昼からのクラフト材料用に加工すべく、大中小と異なるサイズの竹を情報館へ持ち帰った。

午後は上記の竹を、小口切りしたり、それを割ったりしてのクラフト材料づくり。最後にヤスリがけしたり、ベルトサンダーを使って面取りや手触り感をよくした。

終了後、臨時理事会では、

1) 加盟している団体、春日奥山古事の森協議会と奈良市地球温暖防止対策地域協議会の年次総会が 25 日、27 日に開催され結果報告。

・古事の森協議会では恒例のイベントが 12 月 10 日(土) に春日大社で

・地域協議会では、森林作業体験のイベントが 10 月 1 日 (土) 奈良阪で

それぞれ開催が予定され、例年通りの当クラブへの協力要請を受けた。

2) ボランティア保険コスト節約のため、新たに二三比較検討したが、補償内容・使い勝手等からみて、引続き従来通りの日本森林ボランティア協会での付保とすることとした。



竹伐り作業



クラフト材料づくり

6 月 5 日(日) むし祭り 橿原市昆虫館

「むし祭り 2016」が開催され、「森の学校」を出展された県中部農林振興事務所よりの依頼でクラフト指導にあたるため当クラブより4名が参加。前夜からの雨が午前中まで残るとのことで、訪れる人数が懸念されたが、クラフトには子供達200人以上、家族を含めると400人以上が訪れた。

「森に関するクイズ」に挑戦後、今回の出し物（ジージーゼミ、カブトムシ・クワガタ、ガリガリとんぼ）をそれぞれ作った。ジージーゼミの材料100個がなくなり若干追加、カブト・クワガタの原型104個もほとんど残らず、終日作成者でごった返した。



クイズ用パネル



作成風景

6月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

朝一番、ユニホームの贈呈式が執り行われた。これは損保ジャパン基金（同社社員有志からの寄付）で購入。背中に当クラブ名が鮮明に印字された黄色のベストで、同社の女子社員（当クラブ員でもある）より理事長に手渡され、披露のため早速理事長が試着。今後フィールド内外での活動時着用し、当クラブのPR並びに存在感を示すのに寄与すること期待大。

この日は「緑の募金」公募事業”頂上展望台の眺望・景観を回復し、荒廃した里山林を再生する事業②”の27年度総仕上げの活動となるため、全員徒歩で40分ほどかけて、頂上展望台へ。現地で、高木の除伐、草刈り整備、竹の除伐に分かれての作業。作業の目途がついた頃、全員で記念写真。

午後、クラフトの材料づくりで子ども交流館へ戻る者以外は、引続いての作業に加えて、来春の記念植樹祭に備えて、予定地の実測を行った。

終礼時、この日の参加者16名全員にユニホームが手渡されて解散。

定例理事会、

- ・ユニフォーム購入の経緯
- ・FV連保険の取り扱い
- ・クラフト指導、今後の予定
- ・グリーンボランティアならクラブ27年度事業並びに決算

等の報告があった。



ユニフォームの贈呈式



整備作業風景



6月27日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中はFV連「緑の募金」公募事業“竹林整備と環境整備”で竹の伐採と草刈りに大汗をかきながらの活動。午後は、シイタケ銀行の古い土台や支柱を処理し、別に仮伏せしていた新しいホダ木約80本を運び込み予定の作業を終了。今回嬉しいことに新しく若い人の参加があった。